

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校長名		所 在 地	
新潟デザイン専門学校		昭和51年4月1日		加藤一人		〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-54 (電話) 025-245-3381	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所 在 地	
学校法人新潟総合学院		平成7年3月24日		池田祥護		〒951-8065 新潟市中央区東堀通1-494-3 (電話) 025-210-8565	
目 的		雑貨・ジュエリーのデザイン・制作・販売業界にかかわる人材として、木工制作・ファッション雑貨制作・ジュエリー制作、販売サービス業など、様々な分野に関わる技術等について、専門的な知識・能力を身に付け、その知識に基づく実習を通して実務に関する実践的な技術・技能を身に付けることを目的とする。 デザイン・クリエイティブ業界の多くの企業や団体と連携し即戦力となる人材育成を行い、また、多くのデザイナー・クリエイターの育成により業界の発展に寄与することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
文化・教養	文化・教養 専門課程	雑貨・ジュエリー デザイン科	2年(昼)	2400単位時間 (又は単位)	平成22年文部科学 省告示第三十号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		432単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1968単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		47人		2人	7人	9人	
学期制度		■前期：4月1日～8月31日 ■後期：9月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について ・評価基準はA・B・C・Dの4種 ・方法：作品評価、書類試験結果		
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月23日～8月28日 ■冬 季：12月17日～1月4日 ■学 年 末：2月24日～3月31日		卒業・進級条件	・出席率80%以上 ・授業課題の提出 ・卒業制作、修了制作の提出 ・学費完納		
生徒指導		■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 早期の保護者を交えた対応 個別面談、個別作品指導		課外活動	■課外活動の種類 企業インターンシップ ■サークル活動(有・無)		
就職等の状況		■主な就職先、業界等 デザイン・雑貨・ジュエリー業界 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 85% ■その他(任意) (平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の 情報)		主な資格・検定	・POP広告クリエイター技能審査検定 ・文部科学省後援色彩検定 ・販売士検定 ・ビジネス著作権検定 ・コミュニケーション検定		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成25年4月 1日在学者 47名（平成25年 4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 47名（平成26年 3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任による個別面談、早期発見による保護者との連携</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ncadnet.jp/</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

デザイン業界では、基本的な技術・知識を基に、最新の多様な変化に対応できる知識技術が求められている。そのため、県内及び県外の就職先企業・インターンシップ先等の各企業等と連携し、現在業界の求めている人材像やスキル等の動向を把握・分析し、専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目、授業内容の改善工夫などを行うために教育課程編成委員会を設け、教育内容の質の向上に継続的に務める。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年4月1日現在

名 前	所 属
高田 哲雄	文教大学 情報学部広報学科 教授
新保 悟	ジャムルクルー株式会社 代表取締役社長
渡辺 淳一郎	株式会社アイディ・東和 取締役営業部長
齋藤 秀一	NPO 法人 アジアクラフトリンク
明間 芳規	株式会社アイ・シー・オープロモーション
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
畑野 裕美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務部長
永井 啓司	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
吉富 克弥	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
小林 敏哉	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
岡本 恵美	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 学科長
平出 恭子	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 教務
渡辺 一史	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局長

(開催日時)

第1回 平成26年9月5日 17:00~18:00

第2回 平成26年10月3日 17:45~18:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業の実制作方針を良く理解した上で、作品をいかに要求に近づけていくかを企業からの指導やアドバイスを受けたのち中間チェックや最終出来上がりの講評・品評・アドバイスなどを受けて行くことで学んでいく。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
グッズデザイン	木のカトラリーを制作して商品化を目指す木材を使用し基礎課題の制作を通して木材の魅力と可能性を理解し学ぶ。木のカトラリーを制作して商品化を目指す。	NPOアジア・クラフト・リンク ジャムルクルー株式会社
制作実習	貴金属加工技術を習得し、課題制作を通して地金の種類や性質についても学ぶ。	新潟県貴金属技能協会 洗谷貴宝 ジャムルクルー株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記の通り教員研究環境を整える。

- ・教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・スキル研修
- ・県などの公共事業によるセミナー等への参加。
- ・一般社団法人 全国専門学校経営研究会主催の各種教員研修への参加。
- ・学内に設置される付帯教育講座を利用した自己啓発。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 27 年 1 月 20 日現在

名 前	所 属
丸山 悦代	学校法人 大彦学園 開志学園高等学校 教諭
関本 大輔	株式会社アドハウス・パブリック 代表取締役社長
高橋 徹	ツムジグラフィカ 代表
加藤 一人	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 校長
山下 まどか	学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 事務局

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ncadnet.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程雑貨・ジュエリーデザイン科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			造形理論・実習 I	自然美に頼らない新たな美しい造形物の作り方を学ぶ。立体物を平面で考えるために三角法を理解し、平面と立体を頭の中で融合させ立体物を制作する。	1・通	192				○
○			制作実習	各授業で習得した技術を生かし、オリジナル作品の制作や復習、課題提出日までのクオリティ向上等に活用する。	1・通	160				○
○			皮革工芸	皮革を使った雑貨制作。切る、貼る、縫うなどの基礎技術を身につけ、デザインの発想を楽しむことを主眼とする。	1・通	96				○
○			シャポー	ヘッドアクセサリ制作技術の習得。素材や道具の種類、それぞれの名前や使い方を学びながら基礎課題の制作を行う。	1・通	64				○
○			カラーコーディネート	デザインにとって色彩がいかに重要であるかを理解する。色彩の視覚的な効果は無限であることを学んだ上で、目的・用途に応じた配色が行えるようになる。	1・通	64		○		
○			ジュエリーデザイン	歴史を通してジュエリーアクセサリの概念を学び、宝石学としての種類や、目的に即した宝石の選択・デザインの仕方を習得する。	1・通	96		○		
○			素材学	紙・木材など、馴染みのある素材だけに拘らず、新たな異素材に触れることで、様々な素材に対する知識と認識を深める。	1・後	16				○
○			世界デザイン史	デザインの歴史を学ぶことにより、これからのデザインはどうあるべきか、1つではない答えをそれぞれが考える。	1・前	16		○		
○			デザイン論	デザインの発展の源と現状を理解・分析すると同時に、アートとデザイン、更には雑貨・ファッションへの関係も追及していく。	1・通	32		○		
○			ファッション情報 I	現在のあらゆるファッションをイメージ言語で分類することで商品にとってイメージが如何に重要であるかを理解し、概要を把握する。	1・通	32		○		

○			デザイン技法	アイデアスケッチや完成予想図を描く技法習得を基本とする。さまざまな素材の対象物をよりリアルなテクスチャーで描けるテクニックを学びオリジナル性のある表現を養う。	1・前	32					○
○			ファッションデザイン画	ファッション画のテクニックの習得。対象物の表面的ディテールにとらわれることなく、ファッションイメージを平面上に具現化する力を養う。	1・後	32					○
○			マーケティング	販売士検定3級の5科目を基本に販売の知識を習得する。在学中の就職活動や卒業後に起業する際の専門的技術、手法、情報、経験を養う。	1・通	64			○		
○			グッズデザイン	木材を使用し基礎課題の制作を通して木材の魅力と可能性を理解を学ぶ。木のカタラーリを制作し商品化を目指す。	1・通	64					○
○			修了制作	具体的な店舗を想定し、プレゼンボードにまとめる。店舗名、コンセプト、店舗空間イメージ、マーチャンダイジング、オリジナル商品イメージの制作。	1・後	240					○
○			造形理論Ⅱ	「造形理論・実習Ⅰ」の応用。店舗のロゴ看板・家具デザインなど、より実践的な課題へと展開させる。	2・通	160					○
○			制作実習	貴金属加工技術を習得し、課題制作を通して地金の種類や性質等についても学ぶ。	2・通	96					○
○			アパレルCAD	マッキントッシュを使用し、イラストレーターやフォトショップなどソフトの基礎的な使い方を習得。レイアウトや画像編集など、作品のデータ化を目的とする。	2・通	96					○
○			ヘア・メイク実習	在学中のみならず社会人に必要な基本ツールのひとつとして、TPOに合わせたヘア・メイクの仕方を身につける。	2・通	96					○
○			ファッション情報Ⅱ	ファッション情報Ⅰの応用。ファッション業界における新たなサービスの提供など、ネクスト・イノベーションと成り得るアイデアの提案を試みる。	2・通	64			○		
○			マーケティング	店舗計画における市場調査を実施し、最適な出店場所、交通機関、公共施設、地域特性、競合店、将来性などをまとめ、マーチャンダイジングに反映させる。	2・通	64			○		
○			トータルコーディネート	自由度の高いデザインで照明器具などのインテリアを提案。「トータルコーディネート」としてのクオリティと、素材やイメージの一貫性を追求する。	2・通	96					○

○			レザー演習	「皮革工芸」で身につけた知識・技術を応用し、革小物の制作や関連のデザイン画コンテストへの応募を行う。	2 ・ 通	32					○
	○		皮革工芸 (バッグ)	皮革を使用したバッグのデザイン・制作	2 ・ 通	160					○
	○		皮革工芸 (シューズ)	皮革を使用したシューズのデザイン・制作	2 ・ 通	160					○
	○		シャポー	1年次に習得した知識・技術を用いて、ヘッドアクセサリーの可能性を追求した制作を行う。	2 ・ 通	160					○
	○		ニットイング	縫製、編み物の基礎技術を身につけ、ファッション雑貨の一商品として成立するデザインの提案・作品制作を行う。	2 ・ 通	160					○
	○		販売実務	販売戦略におけるPOP広告の役割を理解するとともに、実用的なPOP広告制作の技術を習得する。	2 ・ 通	96			○		
	○		デザイン発想	学科の特性に合う一般公募のコンペを選択し応募。過去の入賞作品とテーマの分析を行い、ディスカッションを通して発想の幅を広げる。	2 ・ 通	96					○
○			卒業制作	統一感のあるイメージと良心的なデザインを基盤とし、1年次修了制作を再検討の上、より具体的でオリジナリティーのある作品制作を行う。	2 ・ 後	240					○
合計					30 科目	2400 単位時間 (単位)	